

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	クオリスキッズ東中野保育園
施設所在地	中野区東中野3-19-17

1. 活動のテーマ

<テーマ>

活動のテーマは「図形と数字」

<テーマの設定理由>

場所柄なのか小学校受験を検討している家庭が数割いたり、公文式やそろばんなど、算数系の塾に通っている園児がいるなど、トランプやレゴ、カプラ等数字や図形に興味関心が高く、優しい問題ではすぐに飽きてしまい、難しい取り組みにチャレンジした。幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿にもあるように幼児期教育では将来自ら考えて行動するための基礎となる思考力を育む機会を提供し、図形や数字など子どもたちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるような環境を整え応援する取り組みが重要だと考えテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

思考力とは、経験や知識をもとにあれこれと頭を働かせられる人（筋道立てて考える力が高い人）のこと。そのような人物になるには継続的に取り組むことが重要だと考え、毎週1回実施することをスケジュールに組み込んだ。1回の実施時間は45分。3歳児クラスは5分～開始。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

IQパズル・カプラ・3D立体造形積み木カード付・LaQベーシックパーツ・白黒ゲーム・時計パズルなど準備し、環境設定を行った。「覚える」ことより「考える」ことを中心とした思考学習ができる環境を整えるため、図形プレート、ひもとおし、ブロックなどの道具や、視覚的アプローチもできるよう映像も用意。遊びながら粘り強く考える環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○毎週1回個々にテキストを30分実施:個々に理解力、興味関心の度台などで見直した。クラスごとに同じ映像を15分視聴：算数的思考力の土台となる量感と空間認識を視覚的なアプローチを通じて数や図形の概念を遊びながら理解していく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動をドキュメンテーションにして掲示し、保護者にも共有している。子どもたちが何に関心を持ち、どのようなアイデアを持っていたかを保育者同士共有し、子どもの成長を共に確認し合う。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1回45分というのは園児には少し長い時間であるが、継続的に取り組むことで、座った状態で集中して取り組むことに慣れるという副次的効果も得られた。外部から講師を招くのではなく、子どもの普段の様子を良く知る担任が実施することにより、一人ひとりに合った活動となっている。テキストが段々と難しくなっていくなかで前回やったIQパズルを始める前から「今日もこの前やったのと同じのをやりたい」という声で、同じ内容を繰り返し行うことで少しずつ分かってきたようで、嬉しそうだった。また途中のダンスも楽しんで踊り、意欲的に取り組むことができた。IQパズルを行うことで、数字や図形に興味を持ち、活動の為に準備をした素材や、道具に意欲的に取り組んでいる様子があったので、今後も継続していきたい。